

ファーム石山

目 標

- ・牛の搾乳や餌やりを行い、実際の酪農に体験的に触れる。
- ・酪農体験を通し、食の大切さへの理解を深める。

育てたい力

○普段飲んでいる牛乳が、酪農を営む人によって大事に作られていることや、バターやアイスクリーム作りを行うことにより、どのように乳製品が作られているかを知り、自分たちの食生活に生かす力を育てる。

主な学習活動（総合的な学習の時間：9 時間、国語科：2 時間）

大豆の種植え

（6 月）

- ・昨年度のミニトマト栽培の経験を生かし、大豆を種から教材園に植えた。また、国語科「すがたをかえる大豆」と関連させて、大豆の成長を追うとともに、収穫できた時の喜びを味わおうという意欲と見通しをもった。

大豆を育てる

（7 月）

- ・自分たちで大豆を育てることにより、大豆がどのように育つのかを調べ、よく育つように水やりと雑草取りを行った。



酪農体験の準備

（8 月）

- ・牛について農家の方に聞きたいことなどを事前に考えた。

酪農体験

（9 月）

- ・牧場を訪れ、搾乳や餌やりの仕方を聞き、実際に搾乳や餌やり体験を行った。
- ・国語科の「すがたをかえる大豆」と関連させ、大豆が豆腐やきなこなどに形を変えることを学習した後、牛乳がどのような食品になるのかを学習し、バターやアイスクリーム作りで学んだ知識と関連付けた。



取組を終えて

子どもの声（感想）

子どもからは、「牛の乳しぼりを初めてしたけど、いい経験になった。」「アイスは、作るのが結構大変なんだと思った。」などの感想が寄せられた。

取組の成果

酪農体験を通して、食に関する意識が少し変わった。日頃牛乳に対して苦手意識をもっている子どもが、搾りたての牛乳はおいしいと何杯も飲んでいる様子が見られ、普段の給食の牛乳でも飲める量が増えてきた子どももいた。牛に関する話を実際に酪農家の方に話を聞くことで、酪農家の方の苦勞が分かり、普段の食事を見直す良い機会となった。

体験先、関係機関

むらかみ牧場（恵庭市）